

ハートコミュニケーション

# 栄八通信

第 11 号

## 謹賀新年

私の見た

武雄市の



高架区画事業に伴う財政計画が市民に示される

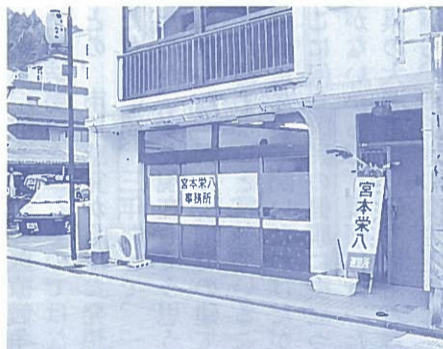
多久市長と協力して抜本的に、水道事業の広域化で値下げ

県内では遅れている老人(介護)福祉が他市並に追いつく

市民病院問題が整理されるまで、早急に休日急患センターが夜間も実施

大型事業の工事受注が、地元優先され、また公平に配分される。

<b>梅</b>	<b>竹</b>	<b>松</b>	<b>銀</b>	<b>金</b>
地元業者育成	現医療ニーズ対応	家計負担の援助	水道広域化	総合財政計画



宮本まちづくり事務所の新春



今日一才誕生日自我が出て来た。現在無派閥



市役所と川端、心の橋を

## 新春三景



武雄市議会議員  
発行者 宮本栄八  
武雄町野間 TEL・FAX23-0750  
宮本事務所 TEL・FAX23-0596

14710月未発行

## 石の上にも3年

# 新春原点新出発 ラストスパート 自ら政治公約を点検する

### 理想の選挙

これは、理想選挙というよりも現在、考えてみれば当然のようにも思うが、3年前はやはり、周囲からは、奇異に、見られていた。その結果については、栄八通信第一号に記載していたので、自分も当時を思い起こすため、それを要約・抜粋したいと思います。

有権者に、選挙選択権を拡大するために、金持ちの名譽職や地域の代表でなく、だれでも出馬できやすい選挙システムを实践するため、法定選挙費用の二百七十万を百万円でやることに挑戦する。

しかし、市民の方からは、反対に選挙に百万円もいるとね?と不信がられる始末。

結果として、百万円ぎりぎりできたわけですが、その為にバイト料を出すべき所をボランティアでしていただいたり、前回バイト料より値下げしたりと、協力者にも、無理をしていただくことになりました。

### ☆政策の提示☆

結果として、武雄町と甘久に約六千部を、一ヶ月かかって、自分の手で配布、市民病院に関するものも協力を得て同数配布した。

ところで、政治的な意見は現在選挙カーなどで訴えることが中心だが、始めから終りまで聞く人はめったにいない。また、選挙公報も紙面に限りがあり、中途半端である。やはり、普段の政治活動において、政策紙を作り配布するこ

とによって、知っていただくしかないと思います。今後は、武雄町以外にも配布して行きたい。



武雄を愛する市民  
みやもと えい はち  
宮本 栄八

### 理想選挙と政策の提示

(100万円選挙の実施(政策紙の作成と配布))  
『まちづくり事務所』の設置  
『栄八通信』の全戸配布  
市に重要事業の実施決定をうながし、全力をもって市政を盛り立ててゆく。

- ① 武雄温泉新館の復元
- ② 北部市街地の区画整理の実施
- ③ 市民病院の市街地建設

### 『まちづくり事務所』の設置

武雄温泉の近くの、宮野町夢本陣のななめ前に、設置して3年になります。昔は、武雄テレビが発足当初あった所です。もともと宮野町出身で、親が亡くなって武雄区野間に家を建て、郊外にうつりましたが、議員に出た時の市街地の問題を忘れないうように、ここに設置したわけです。ただ、市街地の商業問題が、以前は最大の問題でありましたが、

私の親と同世代の老人が多く住んでおられ、高齢化されていて、またそれを支えている子供が私と同年代であり、福祉は難しく、解らないと、選挙公約にも、上げて

### 『栄八通信』の全戸配布

議員は選挙が終れば、海の潮が引くように、市民の前からさって行く、選挙カーで、大声で市民とのパイプを、また、当選してからガンバリを、叫び、嫁さんを泣かせ、同情票をもらっておきながら、音信不通になって行く。それが政治不信の根元。

もし、活動しているならば、その状況が見えるようにする、それが、広報紙であろうと、報告会であろうと方法はかまわないが、そこまでやって、責任が果せると思う。一方、私の場合、前述したように思っていたので、公約したから、それを守る責任もあった。

年に一度、ぐらいいと最初は思っていたし、表裏の2面ぐらいで報告しようと思ったが、第一回目ぐらいいは、創刊号で4面にしたのが



良かった。ちょうど水道料金値上げがあり、そこで、思ったのは、これを一年後に報告したって、市報です。知って、その後、

そこで、4面にして、市民議論や住民参加の材料として、問題の基礎データや主な考え方を紹介したわけです。基本的には、武雄テレビや、市報と重複する内容はさ

け、また、市報等は、市に都合が悪いことは基本的に載せられないので、それに対する論点を集約して記載するようになるのでどうしても、批判、問題記事が多くなるのは、やむをえず、「批判ばかり」との苦言も受ける時もあるが、

「いたしかたないと割り切ったより多面的な理解がなされるように心がけたつもりです。さらに、最初は、自分で誤字のチェックを、していたため、もれが多く、最近他人にも協力してもらって少なくなったと思います。時々、「あなた宮本さんやろ、新聞、読みよっよ！」と知らないおばさんから声をかけられるが、読んでもらうことが、最大の応援だと思ってる。

各議会ごとに、出しているが、全部保存しているという、市職員さんもある。考え方は異っても、事実の誤認はできない。また、牟田議員や山北議員は、地元で新聞を出されている。私が、市内全戸配布にこだわるのは、市民全体が同じ情報を共有して地方分権時代のまちづくりをすすめることと、地区のことは区長さんに議員は地区代表でなく、市民代表との夢もある。

活動方針と政策

当時、市に重要事業の実施決定をうながし、全力をもって市政を盛り立ててゆく。と、思っていたが、結果として、高架区画事業・図書館などは、急に進んだと思う。た

だ、イズミ進出を東部にマスタープラン通りに、オサダとの共存の中で誘導すべきだった、そうすれば、高架区画事業の都市計画決定も、市民が歓迎する、「ちようちん行列」の中で迎えることができただけでなくかと思う。

ただ、下水道がどうなるかが心配だ。観光地で十年先も吸取り式ではすまされないうし、水浄化施設に旅館や飲食業者が、利益を生まない出費をせねばならず、事業収益率が悪く、立地しづらくなる。

政策① 武雄温泉 新館の復元

私が復元の協力について質問したら、市は協力すると明言されたが、私が文化課に何度も調査に行ったが、市上層部から、しっかりと指示がされてなく、熱意に欠けていて、積極的な集約の姿勢が見えなかった。

これが、温泉会社との信頼関係を作れず、反目状態に見える。新市長の熱意があれば解決する。

政策② 北部市街地の 区画整理実施

私が当時、考えていた区画整理は、今回高架用地を作るためのうなぎの寝床のように細長いものでなく、空屋の目立つ、新町や桜町で道も細く家の建て替えのむずかしい地区などの区画整理、また

永松・川良・甘久・下西山、などの曲りくねった農道に広がる新住宅地を早めに区画整理したが良いということだった。高架区画が先として受け入れてもらえなかったが、永松の一部については、高架と同時に、実施される計画となっている。

政策③ 市民病院の 市街地建設

これは、市民病院にするならば交通の弁の良い所にしないと、こ

れから、何十年先の医療競争の中で、結局はさびれるのではないかと、市民感覚から出た発想だったが、結局、三年たって、一巡したのか、また現在もそう思うようになった。国は現地の建て替えしか認めないと言っていることは議員になって聞いたわけだが、そこに何ら国民の健康に役立つ理論がないからだ。視察に行った愛媛

県の大洲市は、建て替えと言いなから、市街地の交通混雑に左右されない所に移って建て替えていた。特に二次医療、高度医療、救急をするならば、住宅街で、日に五回も六回もサイレンをならし救急車が来るのは良い環境とも言えないであろう。さらに、奥に入っていて、患者が少ないから、町の医院の一次医療にも進出して、赤字減らしを考えといるなら、地域の医者から、総スカンくって、成り立たなくなる可能性もある。

現在の目標は初夢の実現

選挙費用は市が負担に

以上、だれもが出られるように、公営選挙になった。経済的な事を気にせず多くの人が出て、市民の選択権を広げてほしい。全然候補者が増えなければ、単に、議員の報酬の追加になってしまふ。

ポスター代	171枚	約35万円
選挙カー代	タクシー レンタカー	約40万円 約10万円
ガソリン代	7日分	約5万円
運転手代	7日分	約8万円

立っているか疑問、という人もいる。テレビ討論なども必要だと思う。

秋田からの年賀状

わたしに来る年賀状は、近隣がほとんどで、県外からは大学時代の友達から数枚来る程度だ。

しかし、二年ほど前から、石黒という人から賀状がどくどく。その人は秋田県の日吉町の区長さんである。もう、ぴんと来られた方もあると思うが、結論から言えば、幕末の戊辰戦争の時に、官軍方の秋田の佐竹藩を支援するため武雄藩からも参戦していたことに関係している。

数年前に日吉町で団地を造成していたとき、武雄から出兵されていた馬渡さんの墓ができて、出身地などがはつきり刻んであり、それがきっかけで、再認識され交流が活発になり、お礼をこめて数年前の武雄の物産祭りの日に「秋田竿頭」にきていただいて、温泉どおりが何十年ぶりに人であふれたわけである。

特別職の報酬等の値上げ

今議会、国の人事院の約2%の勧告を理由に、市四役、市議、審議会委員等の賃上げが可決された。型としては、特別職の報酬審議会の答申を受けて議会が決定という段取り。同一歩調の鹿島市は、社会情勢から見送り、多久市は、審議中という。私は、大型事業をひかえて、市長は『市民にがまんしてもらおう』との公式発言もあり、

前回の値上げで特段周辺市より安いわけでもなく、今なぜなのか、もっと人勧のうのみでなく政治配慮が必要だと主張したが、可決。しかし、議員の中にも、反対の意を表する人も以前より多かった。事は嬉しかった。私は、最低、市長給料は値上げせず、高架区画、市民病院問題解決へ自ら身を切る志を示してほしかった。

説明が長くなったが、二年前に秋田に産業委員会を行政視察に行つたおりに、墓参もしたわけで、そこは秋田市内からだいぶはずれにあり、小山を造成した新興住宅街でイメージ的には、武雄の栗原住宅みたいな感じだった。

その、端の一角に約四十坪に記念碑と墓碑が五つぐらい整然と並べてあり除草などもきれいにされていた。

そこで、武雄市民の方に、一度は報告しなければいけないことがあります。

日暮の早い東北、しかも、寒いしぐれ模様の中、私たちを迎えてくれたのは、行政の人でなく、その新興住宅の住民と、さらに子供たちも、傘をさして並んで迎えてくれた。また、近くに住む、若手県会議員も個人的に来てくれて、

議員と区長の懇談会開催(武雄町)

本音論議活発

本音論議活発 武雄町の区長会と武雄町在住の市議会議員の懇談会が昨年二回開催された。他の各町では以前からやられていたそう、

第一回目は、議題の中心は、「高架・区画整理事業の急展開の経緯のおたずね。また、市に対して、住民への十分な事業内容・整備効果・財政裏付けの説明をするように、議員も努力してもらいたい、などのご意見だった。」

第二回目は、議題の中心は、「資源回収の問題点」、「上西山区の福和道路整

記念撮影のカメラマンまでやってくれた。そして、最後に住民の方からは「自分たちの先祖のように大切に守って行きたい」との言葉を聞き、遠く離れた秋田の地で、武雄の先人を住民の力で大切にされていることに感動したことを、武雄市民の方に伝えたいと、年賀状から、思った訳です。



出迎えてくれた住民

備、「武雄温泉春祭りの今後の在り方」、「武雄市の情報公開について」特に、私が、最近の区長さんは、一味違うと感心したのは、「今度の市長選挙は、密室調整などせずに、出たい人は出て市民の選択にゆだねてほしい。」との注文があったことである。当たり前のことだが、それができないことが多い。それに対し、議員から「私たちは、調整など考えてもいないし、するところではない。」と明言。ところで、区長の心配する密室調整、市議より、本人どうし、業界、地元大手企業の方にも注文してほしい昨今である。